

精神看護学概論

2 単位 (必修) 2 年

Introduction to Psychiatric-Mental Health Nursing

片岡 三佳・准教授 / 保健学科 看護学専攻 地域・精神看護学講座

千葉 進一・助教 / 保健学科 看護学専攻 地域・精神看護学講座, 非常勤講師

【授業目的】精神の発達と健康を支える看護活動の特徴を理解する。

【授業概要】教科書を中心とした講義と VTR, 再構成の検討などを組み入れ, 人々の精神の健康を支える看護に必要な基礎的な知識, モデル, 法律と制度, 用語などを学習する。

【キーワード】精神保健, 看護

【先行科目】『疾病論 I』(1.0), 『看護学概論』(1.0), 『看護理論』(1.0)

【履修上の注意】教員は, この教科を学習するための方法と枠組みを提供するが, 学生は自らの学習に対して責任を取る必要がある。ただ単に, 講義内容を暗記するだけではなく, 疑問や問題に対して批判的によく考えてください。

【到達目標】

1. 精神の発達と健康を支える看護活動に必要な基礎知識を理解する。
2. 精神の発達と健康を支えるために必要な看護活動を理解する。
3. 精神の健康問題をもつ対象の看護活動の歴史的経緯と法制度を理解する。
4. 精神看護学における倫理的課題と看護職の役割を考えることができる。

【授業計画】

1. 精神看護学の考え方
2. 心の構造と機能
3. 心身の成長・発達と健康
4. 精神科で出会う人々
5. 精神看護における主な看護モデル(ペプロウ, トラベルビー, オレム=アンダーウッド)
6. 精神の健康を支援する看護活動 I(精神の健康状態のアセスメント)
7. 精神の健康を支援する看護活動 II(対人関係の展開)
8. 精神の健康を支援する看護活動 III(コミュニケーション)
9. 精神の健康を支援する看護活動 IV(リエゾン精神看護)
10. 精神の健康課題をもつ対象の支援活動の歴史的経緯と看護職の役割
11. 精神看護学における倫理的課題
12. 精神看護学における課題と看護職の役割
13. 病院見学
14. 病院見学のまとめ
15. 試験

【成績評価】定期試験 (70%), レポート (30%), 授業の参加度・出席状況 (参考)

【教科書】

◇ 瀧川薫編:看護系標準教科書 精神看護学, オーム社, 2007.

◇ 瀧川薫ほか編:精神保健看護辞典, オーム社, 2010.

【参考書】

◇ 講義中に紹介する

◇ 谷岡哲也, 瀧川薫ほか編:精神障害をやさしく理解する Q&A253, 日総研, 2003.

◇ 真野元四郎, 谷岡哲也ほか編:続・精神障害者のヘルスケアシステム, 西日本法規出版, 2003.

◇ 上野修一, 大蔵雅夫, 谷岡哲也編:コメディカルのための専門基礎分野テキスト 精神医学, 中外医学社, 2007.

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217959>

【連絡先】

⇒ 片岡 (088-633-7614, mika3@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜日16:00~18:00)